

■ 平成 28 年度 企画展

ナンヤローネ No.0

会 期：2016 年 4 月 1 日(金曜)から 6 月 5 日(日曜)まで

岐阜県青少年美術展

青年部：6 月 16 日(木曜)から 6 月 19 日(日曜)まで

絵画、デザイン、立体造形、書道、写真の 5 部門からなる公募展。

少年部：6 月 23 日(木曜)から 6 月 26 日(日曜)まで

絵画・デザイン、書写の 2 部門からなる公募展

北海道立近代美術館コレクション

ゆるり日本画 絵の中の旅

会 期：7 月 9 日(土曜)から 8 月 21 日(日曜)まで

この夏休み、絵の中の旅へ出かけませんか？

本展では北海道立近代美術館所蔵の日本画の名品約 80 点を展示します。巨匠・横山大観や竹内栖鳳から、愛知県でも活躍した片岡球子、北海道の雄大な自然を描いた画家まで一堂に紹介します。月光降る水辺、雲海に映る虹、愛らしい兎や仔馬、昔の札幌の雪景色…なつかしくも新しい日本画の世界を、気の向くままにゆったりと旅しましょう。

アートまるケット 日比野克彦ディレクション「ながれミながら」

会 期：7 月 16 日(土曜)から 9 月 25 日(日曜)まで

フランスの風景 樹をめぐる物語

～コローからモネ、ピサロ、マティスまで

会 期：8月30日(火曜)から10月16日(日曜)まで

いつの時代も伴侶のように人に寄り添い、聖なるもの、永遠の象徴として季節の移ろいや時の流れを伝える樹木。バルビゾン派の画家達は自然の中での人の営みを写実的に捉えようとし、印象派の画家達は光の効果を求め戸外へ出かけてゆきました。風景画の構成要素の一つだった樹木は、やがて主題となり抽象画の素地を形成していくのです。

本展では『樹木』をキーワードに、コローからモネやピサロ、ルドン、マティスまで、フランス風景画の変遷を辿ります。

知られざるプライベートコレクション

ジャパン・ビューティー 一描かれた日本美人一

会 期：10月27日(木曜)から12月11日(日曜)まで

美しい女（ひと）は好きですか—いつの時代も永遠のテーマである女性美。

上村松園、伊東深水、竹久夢二から幻の作家まで、普段は公開されることのない多彩な名作から、明治・大正・昭和初期の美人画に託された理想美に迫ります。

つながる ひろがる はんが のみりよく

岐阜の版画

会 期：2017年1月12日(木曜)から2月26日(日曜)まで

昭和36年に飛騨出身の守洞春が日展特選を受賞して以降、教育版画や創作版画の作家を多数輩出してきた岐阜の版画が全国に注目されます。今回の展示では守洞春をはじめ所蔵する作家の作品を中心に、そのDNAを受け継ぎ、写真、CG等と版を介して新たな表現へと広がり続ける現在の岐阜の版画の動向を、作家のワークショップや学校の取組みを交えながら紹介します。

第41回岐阜県移動美術館「ひとをかくひと」

会 場：美濃加茂市民ミュージアム(みのかも文化の森)

会 期：9月17日(土曜)から10月23日(日曜)

スクールミュージアム 「学校の教室が美術館に!？」

会 場：岐阜県立大垣北高等学校
